

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.48》2017年2月発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

大分市内では、このところ最高気温が10℃前後の寒い日が続き、インフルエンザも大流行となっています。最近の話題としては、津久見市出身の渡辺一平選手(早大)が200m平泳ぎで世界新記録を出したことでしょうか。昨年、空手道世界選手権で優勝した大野ひかる選手(大分市消防局)をはじめ、オリンピックに向けて県出身の選手が活躍するのはうれしい限りです。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について



大分県上海事務所
(日中経済協会上海事務所大分県経済交流室)
所長

藤原 由博
(Yoshihiro Fujiwara)

【連絡先(Mail)】
fujiwarajc@shcei.com.cn

大分県上海事務所では、県産品の販路開拓支援と訪日客誘致を主な業務として中国大陸・香港・台湾で活動しています。

物産の販路拡大については、管轄地内で展示会への出展、現地商社との個別商談、県産品販売会の開催などを行っています。このうち、11月に青島で開催された中国最大規模の食品博覧会では、県貿易アドバイザーの協力のもと、中国商社のブースから県内企業4社が出展し、バイヤーや飲食店関係者などに直接自社商品のPRを行いました。ご存じの方も多いと思いますが、中国大陸への食品輸出に関しては、高い関税、厳しい食品検査などがあり、商談がなかなかスムーズに進まないのが現状ですが、今後も商社との関係を構築しながら販路の開拓を支援したいと思います。



青島での展示会出展
(11月)

香港、台湾ではFIT(個人旅行者)数が団体旅行者数を大きく上回っており、レンタカーなどで自由旅行をする人が増えていますが、2015年に上海領事館が発給したFIT向けビザ発給件数は団体旅行を初めて上回り、上海の旅行社からは新たな観光地の情報を求められています。2016年の訪日客消費は約3兆7千億円と国内景気への影響は見逃せません。観光客誘致は県内景気に大きく貢献するものとして、今後も力を入れていきます。



旅行雑誌「行楽」読者会への参加
(10月)

注目記事① 駐福岡大韓民国総領事が知事を表敬

1月13日に、金玉彩(キム オクチェ)駐福岡韓国総領事が着任あいさつのため県庁を訪れ、知事を表敬しました。

熊本地震の影響で減少していた韓国からの観光客が戻ってきたことや、韓国からの留学生が多いこと、今後も協力して両地域の友好関係を深めていきたいことを知事が伝えると、総領事も、お互いの人的往来や交流が深まっており、今後双方の発展につなげていきたいと述べられました。表敬の後、総領事は大分県立美術館(OPAM)を視察されました。
【国際政策課】



注目記事② フランスから料理学校シェフを招へい

1月10日～13日の4日間、県産食材の欧州向け輸出取組者の育成を図るために、世界的に有名なシェフ、アラン・デュカス氏主催のプロシェフ向け料理学校で教鞭をとるウィリアム・グルー氏を本県に招へいしました。グルー氏に対し県内産地を紹介し、実際に料理食材として県産品を使用してもらい、率直な評価を頂きました。【おおいたブランド推進課】

産地紹介



1月10日～12日の3日間は、養殖ブリ、牛肉、乾しいたけ、日本酒、茶、そうめん、糀、勝ちえび、白ネギ、イチゴ、カボスの各産地に足を運んでもらい、生産者のこだわりや食材の特徴について理解を深めて頂きました。

県産食材活用研究会



最終日の1月13日、大分市内のレストラン「ハサマハウス」にて、グルー氏アレンジによる県産食材を使った料理5品(塩糀を使った前菜、乾しいたけと勝ちえびのスープ、養殖ブリのマリネ、おおいた豊後牛のソテー等)がふるまわれ、視察先の生産者をはじめ輸出関係者が試食しました。グルー氏は「大分は海も山もあり、料理人のイマジネーションを刺激する魅力的な食材がある」と評価。また、参加者からは、「デザートと日本酒の組み合わせに驚かされた」「和食の発想ではない食材のコンビネーションに感心した」等の声が寄せられるなど、県産食材の可能性を探る有意義な研究会となりました。

注目記事③ 留学生のマッチングサイト「Work in Kyushu」開設



九州7県と九州経済産業局、九州経済連合会が連携して制作した、九州の企業と留学生のマッチングサイト「Work in Kyushu」が1/27にオープンしました。<http://blog.kghrpc.org/company/>

企業の求人情報や留学生の求職情報のほか、外国人留学生の日本での就職活動のノウハウや、企業が採用時に必要となるビザ申請手続きに関する情報なども掲載されています。

留学生の自己PR動画も閲覧できるので、採用側の企業にとってはリアルな語学力や人物像などについても確認出来るのが特徴です。

【マッチングサイト活用セミナー】 広くサイトの利用を進めるため、説明会を兼ねたセミナーを開催します。

○別府会場 H29.2.24(金) 10-12時 おおいた留学生ビジネスセンター

○大分会場 H29.2.24(金) 15-17時 ホルトホール大分

【国際政策課】

注目記事④ 学生の県内就職を後押し Webマガジン創刊！

学生の県内就職を後押しするため、Webマガジン「オオイタカテテ！」を月2回配信中です。タイトルの「カテテ」は、「仲間に入れて」という大分の方言です。ここに学生の皆さんに対する「一緒に大分を盛り上げていこう」というメッセージを込めています。ふるさと大分の企業情報に加えて、話題の大分県PR動画「シンフロ部」制作裏話や県民の鶏肉愛を紹介する記事など、旬な地域情報などをタイムリーに発信します。

皆様もぜひご覧ください。【雇用労働政策課】

HP <http://oita-katete.pref.oita.jp/> QRコード



注目記事⑤ 「大分をより深く知る旅！」留学生スタディーツアー

NPO法人 大学コンソーシアムおおいたは、大分県より委託を受け、大分県の奨学金を受ける留学生を対象に、県内を巡るツアーを実施しています。今年度は県内の各市町村・地域の自然や文化、産業等について実際に体験して理解を深められる研修を、年間4回実施しました。今まで知らなかった「大分」の魅力を見出すことで大分県をもっと好きになってもらい、将来的にもずっと想いや繋がりを保持してもらいたい、と考えています。スタディーツアー後は、留学生個人のSNSやブログにレポートを掲載するよう依頼しており、大分の魅力を内外に情報発信してもらう役割も期待しています。

■平成28年度のスタディーツアーの様子



【杵築・城下町】

第1回目は、城下町杵築の歴史と文化を学ぶ旅。老舗酒造である中野酒造の酒蔵を見学したり、実際に着物を着て城下町を散策し、武家屋敷では、茶道体験もしたりと、杵築の江戸時代から続く歴史と文化について学びました。



【九重・八丁原発電所】

第3回目は、竹田市の雄大な自然と粋で雅な文化に触れる旅。日本最大の地熱を誇る八丁原発電所では、自然の力を利用した地熱発電のしくみについて学び、竹田市の城下町では地元ガイドによるレクチャーを受け、竹田市の歴史を辿りました。



【豊後高田・昭和の町】

第4回目は、国東半島の史跡と町おこしを学ぶ旅。国宝・富貴寺の見学や、昭和の町では、観光まちづくり会社による「商店街再生への道」について学びました。また、豊後高田市の名産でもあるそばの手打ち体験も行いました。

各回で、それぞれの地域の特色や歴史を学ぶと同時に、地域の方々の温かいおもてなしを受け、留学生それぞれが魅力を体感してくれている、と感じています。今後も留学生に出来るだけ多くの体験をしてもらえるよう、企画していきます。

【大学コンソーシアムおおいた】



おおいたライフ

県内在住外国人による大分生活よもやま話



初めまして、大分銀行国際営業室の陳と申します。中国・広東省の出身で、生まれて初めて日本に来て、平成23年10月に大分大学の大学院に入学しました。あっという間に5年が経ち、大分は私の第二の故郷となりました。自分の故郷と同じように、大分を愛しています。いろいろな素敵な思い出の中で、最も記憶に残っているのが、湯布院の紅葉です。中国では、紅葉を見たことがなく、初めて湯布院で見た紅葉が物凄く綺麗でした。紅葉が舞い落ちている日本の庭園にいますと、日本らしさを感じます。そのような美しい風景をぜひ皆さんとシェアしたいと思います。



注目記事⑥ ASEANの日本語教育研修の拠点化に向けて

12月15日～18日の4日間、ベトナム・マレーシアの中学・高校から14名の日本語教師の方々が、(独)国際交流基金が実施する「日本語パートナーズ事業」における研修の一環として来県されました。

日本語運用能力の向上や日本文化・社会の理解促進のため、別府翔青高校・立命館アジア太平洋大学で学生と交流したり、別府地獄めぐりや宇佐神宮、杵築城下町の文化・歴史について学んだほか、別府市内の家庭を訪問し、日本の生活習慣などを体験しました。

大分県では、「日本語パートナーズ事業」の研修拠点として、今回のような地方研修のほか、日本語教育を現地でサポートする日本人ボランティアの研修の実施が予定されており、ASEAN諸国との交流の拡大が期待されます。 【政策企画課】



別府翔青高校で母国との違いなどを発表



杵築城下町で着物着付体験



立命館アジア太平洋大学で懇談

海外大分県人会交流掲示板



台中県人会



昨年末の12月26日、台中大分県人会が地元大分で開催されました。台湾から帰省中の会員、既に大分に帰任したOB会員たちが

集まり、盛大な会となりました。初代会長である広瀬さん（台中日本人学校前校長）の乾杯音頭で始まった宴は、大分県と台中市の交流状況、直行便の開通、台中市の現況等の話題でもちきりとなりました。大分県と台中市の友好関係がさらに深まっていくことを期待し、会員、OB会員同士で様々な情報を相互発信しながら、関わっていくことを確認しました。また、今後、大分在住のOB会員が増えていくことが予想されることから、大分台中会（仮称）もやっていこうということになりました。 【会長 丸尾貴彦様より】

韓国県人会



韓国大分県人会では、1月20日（金曜日）に新年会といたしまして第一回目の集まりを開催いたしました。様々な職

業、年齢層の方々が集い、一次会はマッコリと韓国料理、そして二次会は初企画として会長のご自宅にてホームパーティを開きました。日本料理屋から取り寄せたホカホカの肉じゃがと日本酒を頂きつつ、寒いソウルの夜をアットホームな雰囲気ですごす会となりました。特に今回は、地方からわざわざ泊まりがけで来てくださる会員様もおられ、大変特別な会となりました。今年も2、3ヶ月に一回のペースで集まる予定です。 【会幹事 小篠恵理様より】

ロサンゼルス県人会



本年、ロサンゼルス大分県人会は100周年を迎えるため、2017年9月30日（土）にロサンゼルス郡ガーデナ市の仏教会ホールにて記念行事を行うことを決定しました。ご参加ご希望の方は會田会長 (yugene@cox.net)までご連絡をお願い致します。 【会長 會田裕二様より】

From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミアム・スターリング
(Miriam Starling)
県国際交流員
英国
pu101503@pref.oita.jp

シェリダンさんと臼杵市にある風連鍾乳洞に行ってきました。シェリダンさんから誘われるまで、大分県に鍾乳洞があることが知りませんでしたので、「あまり有名ではないかな…小さいかな…」と思ってしまいました。しかし、風連鍾乳洞は意外と広くて深かったです。一番奥にある空間は500メートルです。そのところまで、何分も歩かなくてはなりません。狭いところ、高いところ、低いところいろいろあります。鍾乳洞は寒いと思ったので、風連鍾乳洞に行くために、暖かい服を何枚も着ましたが、中は暖かかったです。ガイドさんによると、鍾乳洞の中は、夏は涼しく、冬は暖かいそうです。夏はコウモリがたくさんいますが、冬にはあまりいません。でも、運がよくて、一匹見ました！眠っていて、非常にかわいかったです。鍾乳洞にいろいろなおもしろい形の鍾乳石と石筍が見られます。大正時代まで、この場所は秘密でした。世界に私達がまだ知らないすばらしいところがたくさんあるかもしれないということを鍾乳洞を歩きながら思いました。



金 眞雅
(Kim Jina)
県国際交流員
韓国
pu101502@pref.oita.lg.jp

大分と韓国は距離も近いし、大分空港から直行便もあるため、行きやすいことから、最近では友達の訪問ラッシュです。今回は大学の同期が来てくれて、同じく大学の同期である豊後大野市の国際交流員と一緒に遊びました。

日本にも寒波が押し寄せ、東北では大雪、西日本にも冷たい空気に襲われたその日、私たちは着物体験をしに杵築へ行きました。日差しは良かったのですが、風は強く、強風注意報も出されていました。それにもかかわらず、予定通り着物をレンタルし、城下町を巡りました。気がついたら、髪飾りは風に飛ばされてなくなっていたり、雪が降り出してきたり、寒くて大変な一日でした。しかし、それなりの楽しさもあって、忘れられない思い出となりました。



シェリダン・ミキシック
(Sheridan McKisick)
県国際交流員
米国
pu1014001@pref.oita.jp

世界中で一番好きな景色の一つは、電車から見える別府湾の景色です。陸地に囲まれた州で育ったからかもしれませんが、ビーチとヤシと海が珍しい絵のように溶け合うと思います。今回、電車の代わりに自転車を乗りながら、この景色を楽しむことにしました。

大分駅で電動アシストの自転車を借りて、友達と一緒に別府湾を見に行きました。往復は26キロメートルでしたが、電動アシストのおかげで全然疲れませんでした。雲は一つもなく、満足するまで景色が楽しめました。



章 羽紅
(Yuhong Zhang)
県国際交流員
中国
pu101501@pref.oita.jp

どんど焼きとは小正月の行事で、お正月の松飾り、書初めなどを燃やす、お正月の火祭り行事です。先月の14日の夕方5:30から、大分市の七瀬川公園でどんど焼きの行事が行われました。初めて行った公園ですが、とても広くて、子供がウキウキする場所でした。神事後、皆さんは家から持ってきた門松や書初めを燃やしたり、お餅を竹に刺し焼いたりしました。現場では、体が温まる甘酒も配られました。風が冷たい夜でしたが、火のそばが暖かくて、いい思い出になりました。

一月の後半になると、大分県では一年中で一番寒い季節を迎えてきました。大分市と別府市では雪になりませんが、標高の高い湯布院や安心院などでは雪が積もっていて、大分市から車で一時間ぐらゐ走ると、まるで別天地に入ったようです。



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【中津市／日田市】



(中津市)
「高神社」
宇佐神宮と深い関わりをもつ、承和(834-848年)創建の古社



(中津市)
「鐘(はも)」
舌触りが優しくしゃぶしゃぶや天ぷらなど様々な調理法がある



(日田市)
「オートボリスカーキット」
九州唯一の国際レーシングコース。自家用車でコース体験も可能



(日田市)
「日田やきそば」
加割の麺とシヤキキのめやしが特徴。日田焼きそば街道がある。



話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当:野田
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

